

授業科目名	英語とテレビに見る異文化(2100148)		
時間割名	英語とテレビに見る異文化(31107)		
時間割担当	熊田岐子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

英米のテレビドラマや映画という映像資料をふんだんに用い、視覚と体感から実践的な英語コミュニケーション能力の強化を図る。同時に、それらの映像に表現されている英米の文化を取り上げることで、受講生が文化的特性に触れ、それを理解しようとする態度を養成する。毎回、映像のワン・シーンをスキットにして、そこで使われた表現を中心に実践的な会話をできるよう解説と練習問題、さらにはシュチュエーション・プレイなども取り入れる。インターネットなどによる情報収集・分析能力も養いながら、映像を通して言葉を含めた英米の文化的要素を探る授業である。

学習の到達目標

映像資料の英語を理解し、文化間の違いを見出すだけでなく、自分の伝えたいことを発信する能力の育成を目標とする。最終的には、ドラマなどの台本を作成し、発表する。

授業方法・形式

できるだけ多くの映像を用いて、課題をこなし、発表する形式をとる。したがって、学生主体となる授業である。

授業計画

- 第1回：授業概要説明，メディアの有効的な活用法
- 第2回：コマーシャルから学ぶイギリス英語
- 第3回：コマーシャルから学ぶアメリカ英語
- 第4回：コマーシャルに登場する人物と英語表現の関係性：文化の違い
- 第5回：ニュース英語
- 第6回：ニュースに登場する人物と英語表現の関係性：文化の違い
- 第7回：ドラマ英語
- 第8回：ドラマに見る年代別の英語
- 第9回：映画英語の種類1
- 第10回：映画英語の種類2
- 第11回：ニュージーランドの英語表現
- 第12回：オーストラリアの英語表現
- 第13回：ニュース・ドラマ台本作り
- 第14回：ニュース・ドラマ実演演習
- 第15回：発表会

成績評価の基準

課題・小テスト・発表50%、定期試験35%、授業貢献15%を総合的に評価する。

授業時間外の課題

授業で発表する課題の作成、授業の復習が必要となる。加えて、自分の好きなジャンルで使用されている英語を使って、自発的に英語に触れることが求められる。

メッセージ

異文化コミュニケーションなど文化に関する科目と、英語関係科目が関連します。英語が世界共通語となった現在、私たちの身の回りには、気がつかぬうちに英語が入り込んでいます。それを日々発見し、なぜそのような英語が使われることになったのかを普段から考えるようにしましょう。

教材・教科書

必要に応じてプリント配布する

参考書

授業内に提示